



&lt; 2005 年春季 &gt; すまい・まちづくりフォーラム関西 2 1

## まちなか居住を考える

— 建築家と（ホームビルダー）建売住宅との新しい関係 —

まちなか居住は新しい住宅政策の中で重要な課題となっており、そこでは集合住宅だけではなく、戸建住宅の役割にも注目が集まっています。都市での供給主体の多くは（ホームビルダー）建売住宅業者です。近年、まちなみやデザイン面からみても、比較的質の高い住宅が供給されてようとしています。なかには設計事務所との協力を試みる事例、また若い建築家を中心に都市型住宅への積極的な関与を考えようとする動きもでてきます。まちなか居住の新しい潮流を生み出すことはできるでしょうか。

春のフォーラムでは、テーマにふさわしい第一級のパネリストを招いての企画。専門家はもちろん都市部で住宅設計・住宅生産に関わってゆきたい学生の方にとっても参加していただける内容となっています。

会員のみならず学生、市民の方々の多数のご参加をお待ちしています。

■第 16 回 6 月 4 日（土）  
午後 1 時 30 分 ～ 5 時 00 分

コーディネーター

森本信明 （近畿大学教授）

パネリスト

竹山清明 （京都府立大学助教授）

栗山立己 （タイコーハウジングコア工務部設計課長）

古田義弘 （アトリエフルタ建築研究所所長）

会場 梅田スカイビルウエスト 22 階

交通 JR 大阪駅中央北口から徒歩 10 分

参加費 1000 円 文庫会員と学生は 500 円  
(含資料代)申込み FAX 0774-73-5701 または  
メールでお知らせください。

\* 詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.n-bunko.org/>

本プログラムは、建築士会継続能力開発（CPD）の認定プログラムです。（予定）

### も く じ

2005 春季フォーラム案内	1
次世代へのメッセージ / 国際的な減災活動の展開へ	
室崎益輝	2
トピックス / 台湾の復興まちづくりから	
垂水英司	3
フォーラム / 木の文化で都市の再生は可能か	
北後明彦、塩崎賢明	6
西山先生と私 / 町並み保存運動へのかかわりの中で	
岡田文淑	12
会員だより / 大学の国際化について考える	
吉田友彦	14
資料発掘サロン / 『安治川物語』関係資料を求めて	
鈴木 淳	15

### 2005 夏の学校 開催します

テーマ **ダイブ・イン・踊りと水のまち**  
— 郡上八幡を探る —

期 日 8 月 24 ～ 26 日 2 泊 3 日

会 場 岐阜県郡上市八幡町

対 象 建築・住居・都市計画などに関心  
がある学生・院生など

募集数 約 80 名（先着順）

費 用 2 万円以内で計画中  
(2 泊 2 朝食 2 夕食付)

夏の学校は今年で第 7 回となります。今回は、郡上市役所と郡上八幡市街地まちづくり協議会の全面協力を得て実施します。詳細は次号でご案内します。

参加申し込みの開始は、7 月 1 日を予定しています。参加者をぜひご紹介ください！